

開幕まであと半年！大阪・関西万博

開幕までついに半年を切った2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)。本年8月には、予定より1カ月前倒しで大屋根リングの木造建築部分が完成するなど、会場の建設が着実に進められている。さらに、会場で体験できるコンテンツも次々と明らかになってきた。ここでは、民間企業の出展内容を中心に、コンテンツをいくつか紹介するとともに、各地での機運醸成の取り組みなどについて報告する。

続々発表！会場で体験できるコンテンツ

本年9月以降、各パビリオンの出展内容や人気アーティストが登場する催事など、万博で体験できるコンテンツが徐々に明らかになってきた。

■ 体験型展示で未来を体感！民間パビリオン

電気事業連合会の「電力館 可能性のタマゴたち」では、展示内容や来場者の体験に連動して光ったり震えたりする「タマゴ型デバイス」を来場者が首にかけて館内を巡る。展示を通じ、未来におけるさまざまなエネルギーの可能性について学ぶことができる。

パナソニック ホールディングスのパビリオン「ノモの国」で展開されるのは、同社が培ってきた行動解析・表情解析の技術や、光・映像・音・空気に関する空間演出技術を駆使した体験エリア。来館する子どもたちに、常識や思い込みから解放され、自身に秘められた力を「Unlock」する体験を提供する。



「電力館 可能性のタマゴたち」 提供：電気事業連合会



「ノモの国」 提供：パナソニック ホールディングス

■ “初公開” にワクワク、注目の展示

イタリアパビリオンでは、天球儀を背負ったギリシャ神話の神、アトラスの像「ファルネーゼのアトラス」(右写真)が展示される。紀元2世紀に作られた高さ約2m、重さ約2tの大理石彫刻で、日本初公開となる。



©Luigispina, Courtesy of MANN The National Archaeological Museum of Naples

また、9月には世界最大級の「火星の石」を会場内で展示する方針が、齋藤健 経済産業大臣(当時)から表明された。日本の南極越冬隊が昭和基地近傍で採取した火星から飛来した隕石が、今回の万博で初めて一般公開される。

このような貴重な展示を一度に見ることができるのも、万博の醍醐味である。

■ 多種多様なイベントが目白押し

イベントも盛りだくさんとなる予定で、開幕日(2025年4月13日)に歌手Adoが会場の野外ステージでオープニングスペシャルライブを開催することが決定。NTTドコモやU-NEXTもそれぞれ会期中に音楽イベントを実施することを発表している。また、公式参加国では、オーストリアが「ウィーン少年合唱団コンサート」を開催する。

音楽イベントだけでなく、日本を代表する花火大会が集結する「Japan Fireworks Expo」や欧州最大の日本文化イベント「Japan Expo Paris in Osaka 2025」、さらには大相撲の巡業など、多種多様なイベントがラインアップされている。加えて、会期中、公式参加国・地域、国際機関が1日ずつ「ナショナルデー(国・地域)」、「スペシャルデー(国際機関)」を開催し、自国の文化等を紹介するイベントを行う。こうしたイベントは無料で参加することができる。

イベントスケジュールやパビリオン情報、会場

マップなどの確認・検索に便利なのが、大阪・関西万博の公式アプリ「EXPO 2025 Visitors」。数ある選択肢の中から、お目当てのパビリオン・イベントを見つけられるよう、ぜひダウンロードを。

アプリのダウンロードはこちら



全国各地で大阪・関西万博をPR！ ～第2期PR重点期間の取り組み～

2025年日本国際博覧会協会(以下、博覧会協会)では、本年9月～11月を第2期PR重点期間と位置づけており、機運醸成委員会(委員長：松本正義 博覧会協会副会長(関経連会長))を中心に、各地の企業に協力を呼びかけ、露出拡大に向けたさまざまな取り組みを展開している。

東京では、JR山手線に車両1編成を丸ごとラッピングしたADトレイン(広告貸切列車)が登場。車内の中吊り広告やデジタルサイネージも使い、乗客に万博の魅力をアピールした。

名古屋では、地元のシンボルとして愛されている



大阪・関西万博山手線ADトレイン 出発の様子
提供：2025年日本国際博覧会協会



万博の公式スタッフユニフォームを着用した「ナナちゃん」

名鉄百貨店本店前の巨大な人形「ナナちゃん」が万博の会場サービスアテンドスタッフのユニフォーム姿に変身。10月2日にはお披露目セレモニーが行われた。

地元大阪では、「道頓堀グリコサイン」が万博をPRする特別な映像を放映。往来の人々の注目を集めた。

公式キャラクター「ミyakumiyaku」も、地域のお祭り、プロスポーツの試合、さらには海外で開催される旅行博など、国内外のイベントに登場し、人気を集めて

いる。ミyakumiyakuのグッズをはじめ公式ライセンス商品を扱うオフィシャルストアも、北海道から沖縄まで全国20店舗に増加し(10月1日現在)、各エリアにおける万博情報の発信拠点となっている。

博覧会協会は9月に新しいキービジュアル(下図)を公開し、新たなポスターやデジタルサイネージを展開している。これらのツールも大いに活用いただき、会員企業の皆さまにも引き続き機運醸成へのご協力をお願いしたい。

(万博推進部 小池弥生・入江碧)



「道頓堀グリコサイン」
提供：2025年日本国際博覧会協会

新キービジュアルを使った ツールによる機運醸成へのご協力をお願いします

博覧会協会では、新キービジュアルを使った

- SNS投稿用データ
- サイネージ用データ
- 動画コンテンツ
- ポスター

など各種ツールを作成しています。

デジタルデータ等をご希望の方は下記よりアクセスしアンケートにご回答ください。自動でダウンロードサイトをご案内いたします。ポスターなどのツールはダウンロードサイト内の送付希望届出書に必要事項を記入いただき、博覧会協会 広報・プロモーション局 企画部 事業推進課(banpaku.pr@expo2025.or.jp)までお申し込みください。

アンケートサイトはこちら→



提供：2025年日本国際博覧会協会